

# 自信をもって行動しようとする生徒を育てる学級活動の工夫 —学校行事に関わる共感的なコミュニケーション活動を通して—

特別研修員 生徒指導・教育相談 伊藤 鮎美 (中学校教諭)

【目指す生徒像】 互いを認め合い、自信をもって行動しようとする生徒



(常時活動) 実践後の掲示物による目標の共有と達成度の確認

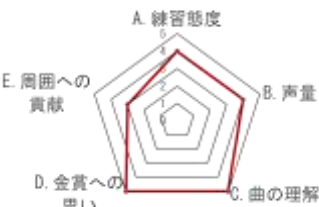
(常時活動) 帰りの学活でのミニマッチングゲーム

## 実践② 合唱コンクールに向けて個人目標を決める (ホーピングタイムで伝え合おう)

学校生活で頑張っている点を挙げながら、合唱練習において期待する行動を「ホーピングー！」のかけ声で伝え合う。その行動を参考に自己の目標を決め、一人一人の付せん紙が学級で一つの型となるよう掲示物を工夫し、学級全体で達成を確認する。

チャートの自己評価が低い(自信がない)行動への助言をもらえたらハイタッチ。

合唱練習 取組チャート



いつもお手伝いを進んでやっているから、指揮者としても準備を進んでほしいな、頑張ろう

一番に練習の準備をして、最高の合唱にするためにどんどんみんなに声をかけていく!!



期待されると頑張ろうと思えるな

現時点での自己評価を基に、周囲は期待する行動を伝え、励ます。

目標を決め、貼り付ける。

## 実践① 体育祭の振り返りを行い、今後の行動目標を決める (マッチングゲームで認め合おう)

体育祭でのお互いの頑張った点を認めながら、「マッチングー！」のかけ声で伝え合う。認められた事を参考に今後の学校生活での行動目標を決め、付せん紙に書いたものを持ち寄り、共有しながら達成を確認できる掲示物とする。

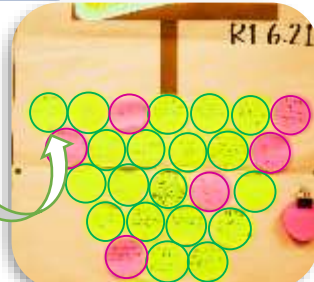
自分で頑張れたと思った事と友達のコメントが同じならハイタッチ。自分の気付いていない事だったら拍手。



クラスのためにリレーの代表として練習を頑張っていたね。ありがとう。

頑張ってたよ良かった。これからは頑張ろう

これからは、自分の係などの仕事以外にもクラスみんなのために働く!!



← 今後の目標は緑色の付せん紙に (達成後はピンクを重ねる)



色々な所を見て認めてくれて嬉しいな

伝え合ってたって楽しいな

# 《共感的なコミュニケーション活動》



### 手立て1 日々の取組の肯定的評価に基づく行動目標の設定と達成度を学級で共有するための掲示物の作成

- ・ 行事や普段の学校生活において友達が努力している点を認め、評価する場を設定する。
- ・ 友達が認めてくれた自分の行動の評価を基に今後の行動目標を決定し、一枚の掲示物に集約し、日常的に活用する。

### 手立て2 互いに認め合う雰囲気高めるリアクションのルールづくり

- ・ 様々な見方や考え方を好意的に受け入れ、自己の成長に繋げることができるよう助言する。
- ・ 友達の励ましの内容によって「ハイタッチ」や「拍手」などの使い分けを指示する。

#### 【生徒の実態】

- ・ 自分の考えや思いがあるにもかかわらず、人前で伝えられない生徒が多い。
- ・ 考えの違いを受け入れられず、他者を好意的に受容する雰囲気が醸成しづらい。

#### 【教師の願い】

- ・ 自信をもって、積極的に行動できるようになってほしい。
- ・ 自他の思いを大切にしながら、互いに思いを交流させることの楽しさを感じてほしい。

#### 《成果○と課題●》

- 年度当初と実践後に実施した学級の雰囲気と自己肯定感を把握する質問紙調査において、「クラスの前では、大変話にくい」と回答する生徒の数が減った。
- 授業の成果であるぶどうの掲示物を見ながら、友達の努力や成長の様子を気に掛け、「目標が達成できているね」と声を掛けるなど、活動前に比べ、他と好意的に関わる生徒が増えた。
- 学校行事のタイミングだけの活動は、瞬間的な自己肯定感の高まりしか生めない可能性があるため、連動した常時活動はもちろん、学年全体の取組としても実践を積み重ねていくことで、互いを認め合う集団づくりの素地を固められるようにする。